あかろまん

平成28年11月１日　第339号

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション　あかい新聞店ホームページ http://www.akai-shinbunten.net　＜発行所＞あかい新聞店　武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎＜0569＞72-0356　常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎＜0569＞35-2861

企画・制作：株式会社 新聞ビル

クロスメディアを総合力でプロデュースする
P.T.C.GROUP
半田中央印刷株式会社
〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525（代）　FAX 0569-29-4500
http://www.handa-cp.co.jp

元気のでてくる〝ことばたち〟 ㉑⑦

村上信夫

Nobuo Murakami

撮影・鶴崎燃

ピンチはチャンス

～俳優 赤井英和さん～

赤井さんとの縁

「浪速のロッキー」といわれた赤井英和さんとは不思議なご縁があり、ずっと会いたかった。

僕が赤井さんに会いたいと思ったのは、戦国時代の武将、赤井悪右衛門直正の子孫だと知ったからだ。赤井直正の居城があった兵庫県丹波市春日町黒井は、僕の父の生まれたところだ。赤井直正は郷土の誇りで、父から何度も何度も話を聞かされていた。幼いころ、祖母の家に遊びに来ると、黒井城跡のある城山には、よく登ったものだ。

赤井直正は一三回戦って、一度も負けたことがないという。あの明智光秀も撃破した。織田信長も一目置く猛将だった。赤井さんも一二回連続ＫＯ勝ちしているのは、先祖の血が流れているからかもしれない。

「ご先祖さんのおかげやと思います。うちは父親が赤井家に婿入りしたので、赤井は母方なんですが、丹波には毎年墓参りに行っています」

父から父へ

対面した日、赤井さんは、終始、御機嫌だった。

それもそのはず、対談する日の直前、長男の英五郎さんが、全日本アマチュアボクシング選手権の出場権を獲得したばかりだったからだ。

「アマ日本一になる可能性は？」と問うと、「ありますよ」と言い切っていた。贔屓目に見なくても、素質があるという。20歳のとき、ボクシングをやると言われたときは嬉しかったと目尻が下がる。4年後、東京オリンピック出場を目指している。父の果たせなかった五輪の夢が叶うかもしれないのだ。

息子も父の背中を見て、同じ道を歩み始めたが、赤井さんも、父の影響も大きく受けている。父は、とにかく真面目で、鋼のようにビシッとしていた人だった。

父にはよく「時間は守りなさい。人に会ったらきちんとあいさつしなさい」と言われて育った。その教えは、いまに至るまで身についている。

「喧嘩ばかりしていたイメージで語られていますが、そうでもないんですよ。大勢の人に自分を知ってもらうためにやっていた部分もあります。売名行為というより、アピールですね。何かに反発していることもなく、学校も好きで楽しかったし、家族もみんな仲がよかった。うちは漬物店をやっていたので、母親が夕飯の支度をするときは、子どもたちで店の片づけを手伝うのが当たり前でした。外でやんちゃしていても、六時になったら戻っていました」

父は海軍の教官だったのに、戦時中には珍しく、教え子を殴ったことがないという。

だが、赤井さんは、一度だけ父に殴られたことがある。高校一年くらいのとき、遊んで夜中に帰ったら、いつもは寝ているはずの父がそこにいた。

「お母ちゃんはお前が帰ってくるまで心配で寝られへんのや」というので、「だからいつも先に寝とけといってるやないかい」と言い返したら、「わしはお母ちゃんが大事なんや！その お母ちゃんを悲しませる奴はいらんのじゃ。出てけ！」と殴られた。

母は、ボクサーになることに大反対していたのに、赤井さんの新聞記事を全部スクラップしていた。「実家にはポスターやらトロフィーなどが部屋中に飾られていて、赤井英和記念館みたいになっていますわ（笑）」。

赤井家は、二代に渡って、家族の絆が強く結ばれている。

俳画／イネ・セイミ

役者として大切にしていること

役者になるきっかけとなったのは、阪本順治監督との出会いだ。

阪本監督がメガホンをとった映画『どついたるねん』の主役を赤井さん自身が務めたことで、役者としての今がある。ケガをしてボクサーとしての道を断たれた頃だったから、その出会いがなければ目標を失ったまま自暴自棄になっていたかもしれない。

だから若い人たちには「最悪のピンチやと思っても、あとから考えたらあれはチャンスやったとわかる。ピンチはチャンスなんや」と教えている。

「日々、いろいろな人に出会ってきたことが自分の財産だと思っています。だから一日経つごとに財産も増えていきます。今日、こうして村上さんとお会いしたことで、また懐が深くなったような気がします」と嬉しいことを言ってくれた。

どんな質問にも、真摯に丁寧な口調で答えてくれる。はぐらかさない。つくづく大真面目な人なのだと感じた。

台本も、何度も読み返し、人のセリフもノートに書いて覚え、自分のセリフの言い回しを考える。

台本には、その人の限られた部分しか書かれていないが、そこに至るまでの人生をイメージして膨らませる努力をしている。

無骨だが、一生懸命に取り組む姿に惹かれる。

■村上信夫プロフィール

2001年から11年に渡り、『ラジオビタミン』や『鎌田實いのちの対話』など、NHKラジオの「声」として活躍。
現在は、全国を回り「嬉しい言葉の種まき」をしながら、文化放送『日曜はがんばらない』（毎週日曜10:00～）、月刊『清流』連載対談～ときめきトーク などで、新たな境地を開いている。各地で『ことば磨き塾』主宰。
1953年、京都生まれ。
元NHKエグゼクティブアナウンサー。
これまで、『おはよう日本』『ニュース7』『育児カレンダー』などを担当。
著書に『嬉しいことばの種まき』『ことばのビタミン』（近代文藝社）『ラジオが好き！』（海竜社）など。趣味、将棋（二段）。
http://murakaminobuo.com

人は、ことばで磨かれる
村上信夫
ポジティブ対談！
好評発売中

■イネ・セイミプロフィール

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の（故）川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元（故）村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女、猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中

ところ　常滑屋
とき　俳画教室月二回　午後一時三十分～三時三十分
会費　一回　一、二五〇円（三ケ月分前納制）
問合せ　☎〇五六九（三五）〇四七〇

インディアンフルート教室開講しています。
誰でも簡単に音が出せる楽器です。あなたも今日からミュージシャン。
受講生募集!!
会場　マツイシ楽器店 ミュージックガーデン武豊
時間　隔週木曜日（月２回） 10：00～11：00
形態　グループ
会費　1ヶ月8,802円（入会金）5,400円
詳しくはマツイシ楽器店本社　教室係まで フリーダイヤル：0120-37-5576
講師　イネ・セイミ
《日本インディアンフルートサークル協会ディレクター》
ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート、その音色はやさしく心に響きます。
1レッスン・30分4,000円　会場・半田市桐ケ丘
申込み お問合せ　0569-89-7127　ine.seimi.jp@gmail.com

私の出会った作品

（5）

杉本武之

㈤ブラームス『交響曲第4番』

◎大学時代①

昭和34年4月、私は憧れの京都大学文学部に入学しました。

文学部には、すぐれた教授がたくさんいました。フランス文学の桑原武夫と生島遼一、ドイツ文学の大山定一、イタリア文学の野上素一、中国文学の吉川幸次郎と小川環樹、東洋史学の貝塚茂樹と宮崎市定、哲学の田中美知太郎……。

60年ほど前までは、京大の新入生は全員、最初の1年間は、宇治にある分校に通うことになっていました。私は平等院の裏手の民家に下宿しました。

宇治分校での学生生活は、本当に楽しいものでした。

同じクラス（L2）の中で、特に親しい友人が3人できました。松山の阿川さん、名古屋の鷺谷さん、神戸の夏井さんです。

1年後、私たちは2回生になり、今度は、京都の吉田分校に通うことになりました。

新しい下宿として、私は京都の鴨川沿いの東三本木通の民家の離れを借りました。大学まで徒歩で20分ほどかかりました。

阿川さんと夏井さんは吉田山の上に建っている下宿屋に移り、鷺谷さんは京大病院前の民家に下宿しました。

私と阿川さんはクラシック音楽が好きでした。二人で、四条河原町と出町柳にある音楽喫茶によく行きました。モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルト、チャイコフスキーといった、一般的に人気のある作曲家の作品を聴いていました。

大学2年の夏休みのことでした。私は、松山の阿川さんの家に遊びに行きました。

2日目の朝、目が覚めると、阿川さんがラジオで音楽を聴いていました。ブラームスの交響曲第4番でした。全曲が終わると、二人は、顔を見合わせて、「よかったな」と言いました。友人の家で、目覚めと同時に聴いたブラームス。私はすっかり感動してしまいました。

その日から、私はブラームスを意識して聴くようになりました。

ブラームス

◎ブラームス『交響曲第4番』

ブラームス（1833～1897）は生涯に4つの交響曲を作りました。すべてが傑作ですが、第4番が最もブラームスらしい作品として知られています。この曲は、1885年の夏、彼が52歳の時に完成されました。

第1楽章の出だしを聴くと、私は、秋風が吹く中を、一人の中年の旅人が、田舎の道を歩いている、寂しい情景を思い浮かべます。旅人の右には海が広がり、左には紅葉した林が続き、時々、古びた農家が現れます。

第2楽章は、その旅人が、歩きながら、過ぎ去った日々を回想しているような感じを与えます。苦しかった時のこと、楽しかった時のこと、生きるために苦闘していた時のこと、穏やかな生活が続いていた時のこと、……こうした過去の思い出が、孤独な旅人の頭の中を去来します。やがて、沈みがちな気分を奮い立たせて、旅人は決意します。

「後ろばかり向いていては駄目だ。前に進むのだ。まだやるべきことがある。これから、実り豊かな、人生の秋が到来するのだ。前向きに生きよう。俺は、やるぞ！」

心の底に秘められていた情熱が、第3楽章から第4楽章にかけて噴出します。大きなうねりとなって押し寄せ、その度に、聴いている私の心を揺り動かします。気持ちが高揚してきて、私も叫びます。「よーし、俺も、やるぞ！」

私が一番よく聴く、この曲のCDは、ブルーノ・ワルターが1959年にコロンビア交響楽団を指揮したものです。少し前に亡くなった異色の音楽評論家の宇野功芳は、『交響曲の名曲・名盤』（講談社現代新書）の中で、このワルターの演奏について、次のように書いています。

「ワルターのは最も嫌みのない純音楽的な美演である。その響きは澄み切って透明で、すべてが見渡せ、新鮮なニュアンスは、モーツァルト風とも言えよう。ブラームスの分厚さを求める人には、やや物足りないかも知れないが、ホルン、ティンパニなどのえぐりは深く、みずみずしい歌にあふれ、リズムやアンサンブルはきっぱりと冴え、まことに立派だ。19世紀生まれの指揮者なのに、古臭さは皆無だし、録音も今もって優れている」

私は、ブラームスの交響曲第1番も大好きです。

音楽家の芥川也寸志が、死ぬ前に「もう一度ブラームスの交響曲第1番が聴きたい」と言った、という新聞記事を読んだ時、私は胸が熱くなりました。

私の場合、死ぬ時に聴きたい曲は、ブラームスではありません。モーツァルトです。偉大な物理学者のアインシュタインは「死とは、モーツァルトが聴けなくなることだ」と言いました。全く同感です。

死ぬまでに時間がたくさんあれば、交響曲第40番と弦楽五重奏曲第3番とピアノ協奏曲第21番。残された時間が少なければ、何でもいいからヴァイオリン・ソナタの一曲。もう殆ど時間がないようなら、ピアノの小品——たとえば、ロンド・イ短調。

ブラームスの音楽には、モーツァルトの天才的な輝きも、ベートーヴェンの不屈の精神も感じ取れません。彼の曲から流れてくるのは、漠とした憧憬。屈折した諦観。付きまとう憂愁。——暗いけれど、しかし、何という魅力を持った音楽でしょう！

周知のように、ブラームスは、生涯、シューマンの妻のクララに憧れていました。

彼は、1853年、20歳の時に、デュッセルドルフのシューマン夫妻を訪れました。温かく迎え入れられ、彼は、それまでに作曲していた作品を二人に披露します。二人の感動は大きなものでした。クララは、日記に「神の手で送られてきたような人が来ました。彼がピアノを弾いているところを見るのは本当に感動的です」と書きました。シューマンは、「新しい道」という表題のエッセイを書き、若き天才として世に紹介しました。

しかし、翌1854年、悲劇が起こります。シューマンが発狂して、ライン河に飛び込んだのです。幸い、航行中の船に助けられ、ボン郊外の精神病院に収容されます。

ブラームスは、クララを助けるためにデュッセルドルフに急行します。それからシューマンが世を去るまでの2年半、ブラームスは、デュッセルドルフに住んで、6人の子供たちの世話をしたりして、クララの負担を軽くするように努めました。そして、時には、クララの演奏旅行や保養旅行に同伴し、急速にクララと親密になっていきました。

1896年、クララが78歳の高齢で亡くなります。

その翌年の4月、40年以上も憧れ続けた女性の後を追うように、ブラームスも64歳でこの世を去ります。

〈杉本武之プロフィール〉
1939年　碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。〈趣味〉読書と競馬

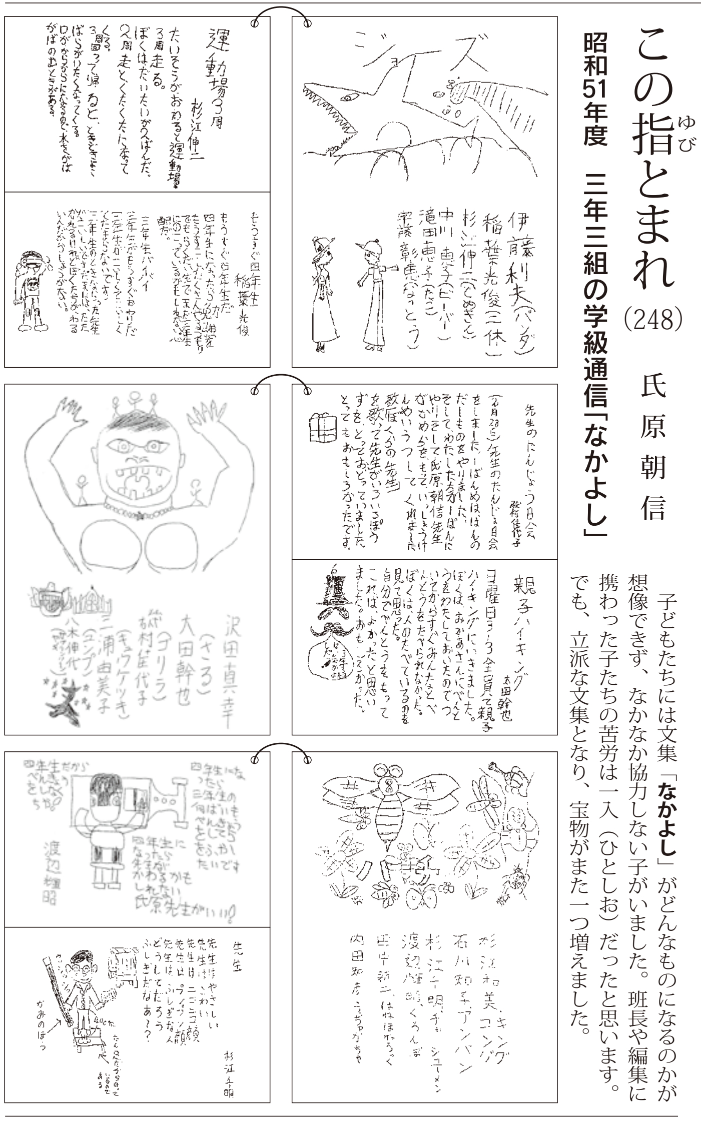
誠意をこめて安心のお手伝い
年中無休・24時間体制
㈲大阪屋葬祭
常滑ホール／鬼崎ホール／阿久比ホール
TEL〈0569〉35-4949（シクシク）（代表）
FAX 35–4911

知多の新鮮たまご
発酵ケイフン
㈲知多エッグ
知多郡武豊二ツ峯380
TEL0569-73-6341

この指（ゆび）とまれ（248）

氏原朝信

昭和51年度　三年三組の学級通信「なかよし」



ジョーズ

伊藤利夫（パンダ）
稲葉光俊（三休）
杉江伸二（でめきん）
中川恵子（ビーバー）
滝田恵子（たこ）
斎藤彰恵（なっとう）

運動場3周　杉江伸二

たいそうがおわると運動場3周走る。
ぼくはだいたいがんばんだ。
2周走るとくたくたになってくる。
3周回って帰ると、ときどきよこばらがいたくなってくる。
口がからからになるので水をがばがばのむときがある。

もうすぐ四年生　稲葉光俊

もうすぐ四年生だ
四年生になったら勉強をたくさんやるつもり
でもらくだいで三年生にのこっているかもしれない心配だ。

三年生バイバイ

三年生がもうすぐおわりだ
三年生がこいしくてこいしくてたまらないです。
三年生のときならった先生がこいしいです。だけど四年生にはかわるけれどぼくたちがかわるんだからしょうがない。

先生のたんじょう日会　磯村佳代子

（2月28日）先生のたんじょう日会をしました。一ばんめははんのだしものをやりました。そしてわたしたちが一ばんにやりました。そして氏原朝信先生がかめらをもって、いっしょうけんめいうつしてくれました。歌「ぼくらの先生」を歌って先生がいろいろぽうずをとっておどっていました。とってもおもしろかったです。

沢田真幸
（さる）
大田幹也
（ゴリラ）
磯村佳代子
（キツツキ）
三浦由美子
（エンプ）
八木伸代

親子ハイキング　太田幹也

日曜日3・3全員で親子ハイキングにいきました。ぼくは、おかあさんにべんとうをわたしておいたのでついてからすぐみんなとべんとうをたべられなかった。ぼくは、人のたべているのを見て思った。自分でべんとうをもってこれば、よかったと思いました。おもしろかった。

3年3組はなかよしだ

四年生だからべんきょうをしなくちゃ。
四年生になったら三年生の何ばいもべんきょうしてちからをつけたいです
四年生になったら先生がかわるかもしれない
氏原先生がいい!!
渡辺輝昭

先生　杉江千明

先生はやさしい
先生はこわい
先生はニコニコ顔
先生はプンプン顔
先生はふしぎな人
どうしてだろう
ふしぎだなあ～？

かみのぼう

杉江和美、キングコング
石川知子、アンパン
杉江千明、チャーシューメン
渡辺輝明、くろんぼ
田中新二、はねほかろっく
内田知彦、うっちゃかちゃ

子どもたちには文集「**なかよし**」がどんなものになるのかが想像できず、なかなか協力しない子がいました。班長や編集に携わった子たちの苦労は一入（ひとしお）だったと思います。でも、立派な文集となり、宝物がまた一つ増えました。

料理研究家

長澤晶子のSPEED★COOKING!

今話題！　ローカロリー野菜コロッケ

野菜の高騰が続いてますが、家族の健康を
考えて野菜嫌いのお子さんにも食べやすくしましたよ♪

材料

4人分
Ⓐ　キャベツ（芯含めて）
　　…………小キャベツ1／2または葉5～6枚（みじん切りにする）
Ⓑ　塩…………少々
Ⓒ　合びき肉…200ｇ～300g
　　卵…………１個
　　小麦粉……大さじ３～４
　　塩…………小さじ１
　　こしょう…少々
　　ウスターソース…大さじ１
Ⓓ　油…………適宜
Ⓔ　揚げ油……適量
Ⓕ　小麦粉……大さじ２
Ⓖ　卵…………１個（溶いておく）
Ⓗ　パン粉……１～1.5カップ

作り方

❶ボールにⒶを入れⒷをふりしっかり揉む。しんなりしてきたら少し時間を置くと水が浸み出てくる（☆）ザルに清潔な布巾を敷いて☆を包み絞り水気をしっかり切っておく。
❷❶にⒸを加えしっかりと粘りが出るまで混ぜ合わす。
食べやすい大きさの俵型にまとめる。（手にサラダ油Ⓓをつけるとまとめやすい）冷蔵庫で20分冷ます。
❸Ⓔを170℃に予熱し始め❷にⒻを薄く絡め付けⒼに通してⒽを付けて、170℃の油に入れ、サクッときつね色になるよう揚げる。
❹❸を器に盛りお好みのソースでいただきます。
お野菜の芯ばかり集めておいて作ってもよいですね。芯が固い時は、レンジで少し火を入れやわらかくしておくと扱いやすいです。くれぐれも水気はしっかり切って下さいね!!

いべんと

◎常滑市民文化会館

▼文化振興事業　文化協会洋楽部「洋楽スペシャルコンサートⅠ」とこなめオータム2016・五日(土)　開場　午後一時　開演　同一時半（～同四時）　入場無料　問合せ　常滑市文化協会事務局　☎090—3303—2393（皿井）

▼文化振興事業　文化協会洋楽部「洋楽スペシャルコンサートⅡ」常滑市民吹奏楽団　第41回定期演奏会・六日(日)　開場　午後一時半　開演　同二時（～同四時）　入場無料（整理券有り）　問合せ　常滑市民吹奏楽団事務局　☎080—3671—6560（森下）

▼スタインウェイひとりじめ～ピアノリサイタル～・十三日(日)　午前十時～午後八時　入場料一区分　三十分千円　問合せ　常滑市民文化会館　☎35—3111

▼常滑西小学校　学習発表会・十七日(木)　開場　午前九時十五分　開演　同九時二十五分（～午後0時十分）　児童のみ（保護者見学可）　問合せ　常滑市立常滑西小学校　☎35—2104

▼常滑西小学校　学習発表会・十八日(金)　開場　午前九時十五分　開演　同九時二十五分（～正午）　保護者のみ　問合せ　常滑市立常滑西小学校　☎35—2104

▼平成28年度・明るい社会づくり運動　知多地区実践体験文表彰式・発表会・十九日(土)　開場　正午　開演　午後一時（～同三時半）　関係者のみ　問合せ　明るい社会づくり運動知多地区推進協議会　☎42—3965（斎田）

▼文化の日記念「文化振興事業」２０１６　創作舞踊部発表会・二十日(日)　開場　午後一時半　開演　同二時（～同四時）　入場無料　問合せ　常滑市文化協会事務局　☎34—6183（平野）

▼四方山話し　第四弾「ほんとうに常滑市はこのままでいいのか！」・二十三日（水・祝）　開場　午前九時半　開演　午前十時（～午後四時）　入場無料　問合せ　ほたるの家命を守る会　☎35—0700（中野）

▼第31回　国民文化祭・あいち２０１６　愛知県文化協会連合会　知多部芸能大会・二十七日(日)　開場　午前九時二十分　開演　同九時五十分（～午後三時）　入場無料　問合せ　常滑市文化協会事務局　☎35—2920

▼心がふるえるような感動をあなたに！　半田少年少女合唱団第三十八回定期演奏会・十二月十一日(日)　午後二時　開演　プログラム①日本の歌「故郷」「赤とんぼ」他　②大中恩のこどもの世界「さっちゃん」「犬のおまわりさん」他　③合唱ミュージカル「ながぐつねこ」　入場料　前売り　四百円　当日五百円

◎常滑市立図書館

▼平成28年度文化の日記念「文化振興事業」　第66回新紀美術展（日本画・洋画・彫刻・陶芸）・十日(木)～二十日(日)

▼シルバー筆耕クラブ展（書）・二十二日(火)～十二月二日(金)

◎とこなめ陶の森資料館

▼企画展　重要文化財仏涅槃図展・～六日(日)

▼陶芸研究所　常設展・八日(火)～二月二十六日(日)

◎常滑市体育館

▼秋季市民剣道大会・三日（木・祝）

▼全知多九人制バレーボール大会・六日(日)

▼常滑市民ソフトバレーボール大会・十三日(日)

▼愛知県小学生バドミントン大会団体戦・十九日(土)

▼常滑市民バドミントン大会ダブルス戦・二十日(日)

▼東海卓球ベテラン大会・二十六日(土)

▼常滑市ママさんバレーボール大会・二十七日(日)

◎常滑市中央公民館

▼生涯学習スポーツ課協賛公開講座「Xmas リボンアート&ラッピング講座」・①二十六日(土)、②十二月十日(土)　午前九時半～同十一時半　内容　クリスマスに先駆け、楽しく小ものづくりを学びましょう①リボンアートでXmasかざりを作ろう！②ラッピングを学び、素敵なプレゼントを送ろう！　講師　松崎美奈子さん（リボンクリエーター、公民館自主グループ「ぷち・まじょ」講師）　場所　中央公民館　学習室２（二階）　対象　小学生以上の人（※小学生は保護者同伴でお願いします）　定員　十五名（抽選）　落選者のみ連絡します。連絡のない場合は時間どおりにお越しください　材料費　二千円／回（当日集金）　※材料準

（5ページへ続く）

新シリーズ　ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』就職

—自分ドラマつくろう—(67)

岡田　清治

姪の就職２

朝、目を覚ました真三は、いつもより一時間遅いことに時計を見て確認した。るり子はいつも通り起きて朝食の準備にかかっていた。

「今日、裕美さんと前島さんに電話して次の土曜日、舞さんがインドへ行く日に会えるかどうか話してみる」と言いながら、応接セットの椅子に腰をおろした。

新聞に目を通している真三のところにホットコーヒーをお盆で運んできたので、「それでいいだろう」と確認した。

「覚えておられたのですね」

「そらー、大事なことだからな」

「昨晩は飲みすぎたので、忘れているのかと思っていました」

「会うのが楽しみだから寝る前にしっかり頭に刻んだのだよ」

「あと一〇分ほどで朝ごはんにしましょうか」

「わかった」

真三は朝食の後、再び新聞を開き読み直しながら、最近の国際情勢が気にもなったので、ワシントンDCに暮らしている友人にスカイプをかけてみようと、書斎のパソコンの前に座った。

スカイプは無料で話せるところがすごいのだが、その代償として個人情報や会話の内容がすべて盗られていると思っていなければならない。とくに彼はパキスタン出身でイスラム教徒だから用心することにしたことはない。

スカイプの画面が出てきた。相手の名前をクリックすると、話せる状態になる。その前に相手がオンラインになっているか、青のチェック表示で確認しないと、いくらかけても、つながらない。しかも日本は朝だと、ワシントンは夕方から夜に向かう。

真三は時計を見ると午前八時過ぎだから、彼のところは午後の八時頃で約十二時間の時差がある。スカイプはこの時差を念頭において、オンライン状態かを確認する必要がある。しかもこちらがかけた時に相手もパソコン画面の前にいないと、つながらない。たとえばトイレに行っている時だったら、いくらオン状態でもわからないので話せない。このためうまくつながる確率は五回かけて一回程度だから、緊急の連絡には役に立たない。

そこで真三はメールで「今ならスカイプで話せるよ」と知らせる。彼は家にいる時はメールをたえず見ていることを確認しているので、この方法で連絡している。これもタイムラグが生じる。真三が「今ならスカイプで話せるよ」とメールを送っていても、部屋を離れている時に、彼がメールを読んでスカイプをかけるが、真三が席をたってからない時や急ぎの用事がある時は、まず固定電話にかけてくる。真三が留守だとわかると、携帯まで追いかけてくる。日本と違ってアメリカの通信費はかなり安く、基本料金分は使用しないと無駄になるので、彼の方から電話をしてくるのが常である。

「久しぶりだね」

「この前は日本語文の校正ありがとう。助かったよ」

彼が日本の高校や大学の同級生、あるいは大事な知人にメールを送る時は、必ず校正依頼がくる。真三を信頼していないと、頼めないし真三の方も責任を覚える。このため何回も推こうして、あたかも日本人が書いたような文面に仕上げるが、「かえって多少、表現が違っていても、彼の人柄が感じられる方がいいのでは」と真三は校正しながら思う時がある。

「アメリカ大統領選はクリントンとトランプに絞られているが、そちらではどう見ているの」

【写真】友禅流し（著者撮影）

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
ＦＡＸ：０５６９—３４—７９７１
メール：takamitsu@akai-shinbunten.net

■プロフィール

著者：岡田 清治（おかだ・せいじ）

一九四二年生まれ　ジャーナリスト（編集プロダクション・ＮＥＴ１０８代表）著書に『高野山開創千二百年　いっぱんさん行状記』『心の遺言』『あなたは社員の全能力を引き出せますか！』『リヨンで見た虹』など多数

「共和党が割れているし、クリントンが優勢だと報じている」

「そうか」

「でも最後まで熱狂的な戦いになるだろうね」

「あなたの家族、親類や周辺の知人は、どちらを支持しているの」

「あまりはっきり言わないが、クリントンだと思うよ。僕はアメリカ国籍を取れていないので投票権はないのだが、クリントンの方がいいと思っている」

「トランプのような人種差別やイスラムのテロ排除論を訴えると、住みにくくないの」

「確かに以前より多少、窮屈になったと感じるが、私の住んでいる地区は治安もいいし、長期間、住んでいれば周辺住民の信頼も得られているので、それほど心配していないよ」

「そうか、あなたは銃を保持していないの」

「持っていないよ。そんな心配したことがない。買おうと思えばいつでも購入できるが…」

「なるほどな。アメリカといえば、大衆全員が銃を家に備えていると思ってしまうが、そうではないのだな」

「そうだよ」

二人は小一時間、スカイプで思いつくままに意見を述べ合うが、彼は一つの話題で延々と話すので、途中で話題を変えないと、いつまでも止まらない感じである。それだけ経験も豊富でよく勉強もしているので、どんどん話すことが湧いてくるのだろう。それに加えてパキスタン人特有の負けずきらいの性格も手伝っているのだろうと、真三は思う。最近は二人とも七十歳を超えているので小一時間も話すと、疲れてくる。その頃合いを見計らってどちらかともなく「今日はこれぐらいでやめようか」と言って切る。

「姪ごさんのインド行き、どうなっているの」

「実は昨日、姪を伴って知多半島をドライブしてきた」

「それで…」

「来週の土曜日、インドの友人を訪ねるために日本を発つということだった」

「友達はバンガロールにおられるのですね」

「そうです。とりあえず、語学学校に入ること、生活費や学費、アルバイトなどについて詳しく教えてもらうと話していた」

「そうですか。土曜日までに私の現地の友人に電話して、現地で会って助言してくれるように頼んでおく。それが確認できたら住所、電話などを聞いてメールで送っておくよ」

「ありがとう。お願いします」

スカイプを切った後、数分後に彼からメールが入っていた。

—真三さま

日本語でいつもお世話になっています。この前、外国の友達から〝真面目、不真面目そして非真面目〟の違いについて問い合わせがありました。分かりやすく教えていただけますか。よろしくお願いします。

追伸：非真面目は字引に見つかりませんでした。

：バンガロールの友人については後ほど送ります。

真三も非真面目をどう説明したらいいのかと思案しながら、一応インターネットで「非真面目」を検索してみると、税理士法人のホームページに質問にぴったりの答えが載っていたので、コピーしてメールに貼り付けて送った。

—真面目、不真面目そして非真面目の違いについての問い合わせですが、さすが外国人ならではの質問ですね。いい例がありましたので送ります。

商売のヒント「真面目・不真面目・非真面目の大きな違い」とある。

真面目な人がバカを見て、不真面目な人が上手いこと世の中を渡っていく。そんな場面に遭遇すると本当にがっかりしてやる気が失せるものです。商売をやっていれば「まっとう」なことだけがまかり通らないのは百も承知。しかし、ズルをしたり手を抜いたりすれば必ずどこかでツケが回ってきます。

「もっと要領よくなりたい」。真面目な社長は自分の不器用さを恨めしく思うかもしれませんが、人の本質はそう簡単には変わりません。けれども考え方を変えることはできます。

これからは「非真面目」な考え方をしてみませんか？

問題が起こったとき、人は往々にして自分の経験に当てはめながら解決策を見つけようとします。それは決して間違った発想ではありませんが、真面目な人の場合、自分の経験にとらわれすぎて新しい見方ができないことがあるようです。特にありがちなパターンは、最初に問題の原因を探ってしまうこと。原因を取り除かないと前に進まないと考えるのは、真面目な人の最たる特徴です。たとえ原因が見つかったとしても、それがどうにもならないことだったらどうでしょう。そこで行き詰まって「もうお手上げ」と途方に暮れるしかありません。原因を探しても問題解決に至らないこともあるのです。

一方、過去の経験や物事の枠にとらわれず、まったく異なった新しい角度からアイデアを生み出せる人もいます。これが「非真面目」です。真面目な人の考え方が「平面」なら、非真面目な人は「立体的」に物事を見ます。柔軟な発想が問題の解決の糸口になるのは体験的によくご存知のことでしょう。

真面目な人は「なぜ上手くいかないんだ？」と頭を抱えます。一方の非真面目な人は「どうしたら上手くいくのか？」と試行錯誤を繰り返します。

素直に一生懸命やるだけでは上手くいかないのが商売です。もっと非真面目になって脳みそにたくさん汗をかきましょう。もちろん、「どうしたら何もせず楽して稼げるのか？」という不真面目は論外ですね。

以上が検索結果ですが、これで友人が満足できなかったら、また考えます。

メールを送って数時間後に

—岡田さま

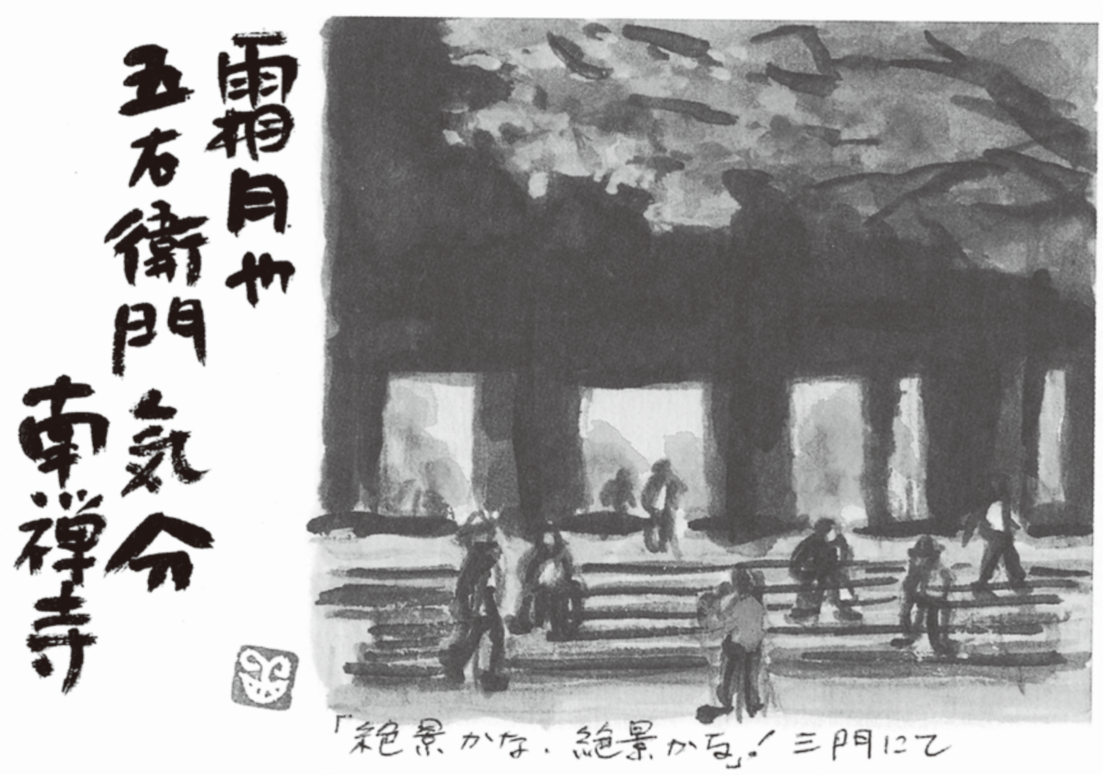
私の質問に対するご丁寧な返事ありがとうございました。大変良い例で「真面目・不真面目・非真面目の大きな違い」がよくわかりました。日本語も勉強になりました。ああいう文章を早く書けるようになりたい。

どこまでも探究心が旺盛なことに真三は感心するのだった。

絵手紙 第二集

わたしの好奇心

絵 文　樅山善久
返 文　小林玲子


霜月や
五右衛門気分
南禅寺

「絶景かな、絶景かな」！三門にて

京都洛東の紅葉も見納めに臨済宗大本山南禅寺を拝観しました。見どころの一つに小堀遠州作庭の禅院式枯山水の名園があり、書院内部には狩野派の元信・永徳・探幽による襖絵の傑作があります。書院を出て左側には、境内を横切って琵琶湖疏水を通すための赤煉瓦のアーチ、水路閣があります。南禅寺三門の迫力は見事で歌舞伎「楼門五三桐」で石川五右衛門が「絶景かな、絶景かな」と見栄を切ったように、私も三門楼に上り大声で見栄を切りたくなりました。

「絶景かな」の三門の力強い御絵手紙ありがとうございます。
インクラインの水路閣も見応えがございますね。
まわりの紅葉も見事であったことと思います。
御絵手紙が百回目とのこと、
本当におめでとうございます。
よくぞ「種は尽きまじ」で、あっぱれ！と拍手しております。
私共こそ楽しませて頂いて、ありがとうございます。
益々のご精進とご健筆をお祈り申し上げます。
真如堂の紅葉も盛りで、敷もみじが
ふわふわの絨毯のようでした。
私共、後追いの旅をさせて頂いております。

感謝

樅山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
丸栄陶業株式会社代表取締役。
碧南商工会議所会頭。
愛知県陶器瓦工業組合理事長。
全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
平成十三年藍綬褒章受賞。
平成二十二年旭日小授章受賞。
丸栄陶業株式会社取締役会長 現在に至る。
京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
洋画コース大学院修士課程二回生。

小林玲子

碧南市に育つ。
西尾市在住
共著「西尾の民話」
童話「サケの子ピッチ」
随筆「海辺のそよ風」
（中経コラム「閑人帳」より）
ミュージカル脚本
「みぐりちゃんのおうち」ほか
童話集
「タァタとバァバのたんけんたい」

知多の動植物雑記（三三八）

原　穣

今年も亦、暑い暑い夏だった。日影を好むのは人間だけかなーと思っていたが、私の家から西方にあったタカサゴユリは、どうなったかなーと出掛けたら、南知多道路に程近い場所に、広々とした草地があり、真ん中辺りに植えられた木の影に、鳥が十余匹も、好みの場所にいるではないか。

早速、カメラを出して、パシャパシャと撮っていた。

後日、その広場が庭先となっているT氏宅を訪れ、写真①を見せ、お話を聞く。お話は、鳥がいたのは、日影に休んでいたばかりでなく、草刈りをやったので、ダンゴムシが目につき、食べに来ることも多いヨと、いうことである。

そんなお話しの最中に、玄関扉の上にヤモリがチョロッと姿を見せるなど、自然豊かな家だナーと感じていた。

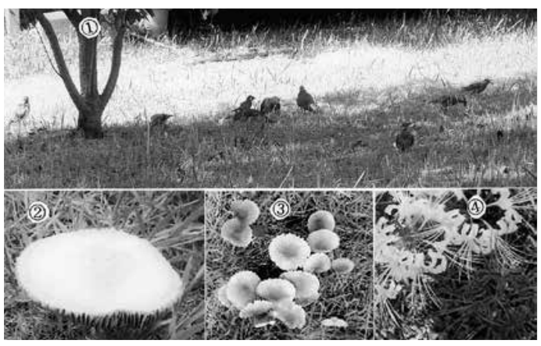
で失礼し、玄関先に出れば、タカサゴユリの花の済んだ穂があり、庭先に出れば、白い仐の直径十二、三㎝もあるキノコ②があり、T氏は「これは毒キノコだヨ」とも。さらに、その近くには、茶色で小形のキノコ③が二十個ほども奇麗に並び、近くのサルスベリの木には、花と実が一杯。

④は自宅の赤白ヒガンバナ。

T氏によれば、春になればカワズザクラ、ノザクラ、ソメイヨシノなどが咲き、秋になればユズがいっぱいなって等々、自然豊かな庭先めぐりのお話しで、心豊かに大満足の日となった。

でもこの頃は、「暑さ寒さも彼岸まで」の言葉は信じられなくて、彼岸過ぎても半袖ですむし、TVも「気温が高くなるから熱中症に気をつけて」なんて放映していた。

ところでT氏宅の毒キノコを、もう少し詳しくと、大府在住のキノコに詳しい女性に聞けば、「その名はオオシロカラカサタケで、有毒だから食べないでネ」と。



穏やかな日々を願って

ちょっとおじゃまします

天勝陶房　鈴木　勝さん

自称　心の旅人の鈴木さんは、方円館での個展のため北海道からフェリーで、本州にやってきた。そして常滑へ。出会った人は、みな好意的に接してくれると、喜んでいる。常滑は焼き物の産地なので、みなの目は肥えているとも、話した。二週間の滞在予定ということだ。軽ワゴン車の中は、生活感があふれていた。毛布、カセットコンロ、カップラーメン…と、夜はこのワゴン車が家となる。千利休が狭い茶室に求めた無限の空間を車内に求めているのかな、という。このキャンプ感覚？を大いに楽しんでいるようだ。

陶芸を始めたのは、27歳の時だった。萩焼の窯元で修業した。萩焼は使い込んでいくと、色彩が変化する。それが、興味深かった、という。安定したサラリーマンを辞めて、陶芸の世界に飛び込んで、今27年が過ぎた。自分の性格を石橋を叩いて渡る慎重な人間だったと、話す。この27年間、何もわからずに、今を精一杯全力で走り続けていると、いう。振り返ってみると、いつも運がよく、人との縁があり、出会いに恵まれていた。人に支えられて、人から重みのある言葉をもらい、陶芸のできる喜びを感じることで、ひとつひとつのことに感謝できるようになった。人それぞれ、積み重ねてきた時間が違うから、出会いは面白いと、いう。気取らず、ありのままに、まっすぐな純粋さを感じさせる人だ。

焼き物は何もないところから形になる。手抜きをしたら、自分に戻ってくる。それもまた自分自身と、思う。だから、やりがいがあるという。土は地元北海道のものを使っている。それぞれの産地の先人がそうだったように、石臼で砕きながら。そういう作業をするようになったので、一層、素材を生かすモノづくりの人間として、昔の物を只、写すのではなく、今という時代を表現していきたいと思うと、話す。

いつも小躍りするような気持ちで美しいものを作陶している。物腰が柔らかく、作品を見ていても楽しい気分になる。白の釉薬の鉢に北海道の厳しい冬を連想し、ぐい呑みで呑む熱燗で暖を取る。自称ロマンティストの鈴木さんらしいなぁーと、思う。

趣味は朝のワイドショーでニュースを観ることと、いう。来年また、常滑で、方円館で、沢山の人に会えるのを楽しみにしていると、いう。（赤井 伸衣）

島旅回廊

～ハワイアン・ムーヴメント②ホノルルマラソン～

半田空の科学館・半田市体育館　館長　**池田　昇**

毎年12月の第2日曜日に開催されるハワイ州最大のマラソンイベント、それが「ホノルルマラソン」です。今年は12月11日㈰開催。第44回大会となります。

1973年、心臓病専門医が「長距離をゆっくり走ることは、心臓病の予防と治療に効果的である」という医学的な観点からマラソンを提唱。これがホノルルマラソン誕生のきっかけとなりました。「マラソンの目的はあくまでも自身の健康維持であり、完走するためのペースも個人個人がつくるもの」という精神から、ホノルルマラソンには制限時間がありません。最終ランナーがゴールするまで、全員のタイムを計測してくれます。

昨年、第43回大会のエントリー数は30,783人。日本人は12,532人でした。日本人ランナーの中には「初めてのフルマラソンはホノルルマラソン」と言う定説があるようで、このレースをデビュー戦にする方が多いようです。私も大賛成です。フルマラソンに挑戦するなら、是非ホノルルでデビューして下さい。私は2000年から8年連続で走りました。

これからホノルルマラソンに挑戦する方に、その最大の魅力をご紹介します。それは何と言っても“沿道に立つ地元の人々の声援”です。ホノルルマラソンのコースの大半は、地元の方々の住宅地です。クリスマス直前ということもあり、道路の両側に立ち並ぶ家々は、それぞれ趣向を凝らしたクリスマス・イルミネーションで飾られています。

中には、自主的に家の前にエイドステーションを開き、ランナーにチョコレートを配ったり、キャンディを配ったり、カットしたオレンジをくれる人もいます。

そして道の両側から聞こえる、沢山の声援がたまりません。一番よくかけられる言葉は「GOOD JOB ！」です。直訳すれば「良い仕事」ですが、ニュアンス的には「いいね！」とか「頑張れ！」といった感じです。私が好きだった言葉は「YOU CAN DO IT ！」。「貴方はそれが出来る」、つまり「貴方は完走出来るよ！」って感じでしょうか。あの声援こそがランナーをゴールに向かわせることは間違いありません。チャレンジするなら絶対ホノルルです。

Rim's Family
JAL
10492
570

ホノルルマラソンを走る私です

若竹俳壇

作品募集　毎月十日までに葉書で発行所へ

天高し水平線の弓なりに	吉田ひろし
勝鬨（かちどき）のこぶし突っ込む秋の雲	斉藤　浩美
土管坂色なき風と登りけり	加藤　久子
鯊の竿たたむ浦曲の暮色かな	片岡　光子
犬散歩草の実付けて帰りけり	谷川と志江
彼岸花南吉ブーム咲き誇る	杉江　民子
婚礼に匂いふくいく金木犀	塚本　千鶴
小さき母会話なきまま秋の暮	関　里美
新蕎麦のニュース心は信濃郷	荒川　達雄
通院の車窓に燃える曼珠沙華	都築　信子
入道雲頭上に迫る山の駅	竹内　艶子
運動会雨にも負けず騎馬となる	服部　窯平
新涼や展望台にある夕日	田上　義則
幸せの扉を開けて小鳥来る	山中　博子
病院で点滴事件秋不毛	中尾　節也
風伝おろしてふ霧の這ひおり来	古川　義高
釣り人の顔に輝く秋夕焼	古川三恵子
達磨忌や人は大きく吾（あ）は小さく	久田　笙子
口鼓寄りくる子猫秋の暮	竹内三千彦
腰痛に苦しむ日々や秋の風	岩田つま子
秋灯（ともし）文字の大きな電子辞書	杉山　和美
今日も雨明日も雨かも萩散りぬ	平野　紀江
秋霖の空眺めつつ心急（せ）く	磯村美耶子
何事も暑さのせいに手も出せず	谷川　利子
秋ふかし一句ひねるも苦労かな	柴山　庄山
無造作に土手に横たう糸瓜（へちま）かな	冨田　悦子
新涼の風を白猫欲しいまま	江端　久恵
名月や今か今かと待ちのぞむ	藤井　文月
うるう年逆打ち参り秋遍路	杉江　タエ
彼岸花色鮮やかに野を飾る	中山　洋子
天空の逢瀬楽しや天の川	清水ドラ吉
味噌汁にさといも加わる朝餉かな	中村　洋子

いべんと

備のため、欠席は前日までにご連絡ください　持ち物　工作用はさみ　申込み期限　十八日㈮　申込み・問合せ　生涯学習スポーツ課　☎44―4600

▼文化体験教室　常滑流「粋なアート体感工房」・①十二日㈯②十二月三日㈯　午前九時半～同十一時半　内容　市内で活躍する旬な作家に創作秘話を聞きながら、作品づくりを体験します①彫刻―人体パーツの世界へようこそ―②絵画―色彩の中から浮かび上がるお釈迦様―　講師　①濱比嘉吉裕さん（彫刻家）②林大輔さん（画家）　場所　中央公民館　会議室（二階）　定員　各二十名（抽選）　材料費　三百円／回（当日集金）　持ち物　①版画用彫刻刀、筆記用具②水彩絵の具、筆記用具　申込期限　①五日㈯②二十六日㈯

◎青海公民館

▼文化教室Ⅱ～小さな自然の風景がつくり出す癒しの空間～「草盆栽教室」・①十九日㈯②十二月三日㈯　午前十時～同十一時半　内容　盆栽は鉢植えとは違い、鉢と植物の姿の中に自然の風景を映すものです。教室では和洋、趣の異なる植物を使ったおしゃれな草盆栽の作り方を学びます①洋物植物でおしゃれな草盆栽づくり②和物植物で新春を寿ぐ草盆栽づくり　講師　山下和俊（園芸家）　場所　青海公民館　美術工芸室（一階）　定員　二十名（抽選）※落選者のみ連絡　参加費　千五百円／回　（材料費含む）　※材料準備のため、欠席は前日までにご連絡ください　持ち物　新聞紙、持帰り用袋、（必要な人は）ゴム手袋、エプロン、園芸用スコップなど　申込期限　十一日㈮　申込み・問合せ　生涯学習スポーツ課

▼想いが伝わる毛筆年賀状・二十七日㈰　初級編　午後一時半～同二時半　技あり編　午後三時～同四時　内容　年賀状の書き方、コツを教えます。　講師　川口雄峰さん、青漣さん（毎日書道展審査会員）　場所　青海公民館　学習室1　定員　各二十名（先着順）　対象者　中学生以上　参加費　五百円／回（当日集金）　持ち物　書き物（筆ペン、筆セットなど）　申込期間　五日㈯　午後六時～十九日㈯　午後六時　申込み・問合せ　青海公民館　☎43―6622

▼平成28年度文化芸術振興補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）古典の日記念「伝統文化のつどい」・三日（木・祝）　午前十時～午後四時　内容　・芸能舞台：地域の伝統芸能、源氏物語の講話・箏曲・雅楽　・秋のみやび展：生け花　・菊見茶会：呈茶券（三百円）、記念菓子（うすばかげろう）・俳句コンテスト：募集期間～三日（木・祝）　正午まで　応募用紙は各公民館にあります。　・作品展（～五日）：日本画、水墨画、書、絵手紙、短歌、木の絵画など　問合せ　大野谷文化圏活性化推進委員会　☎44―0370（宮坂）

◎知多市こども未来館

▼キッズルーム第三期・申込み　一日㈫～十日㈭に同館へ

▼キッズルーム1『さくらんぼ』・十二月六日～二十九年二月二十八日の火曜日・全十回コース　午前十時半～同十一時半　内容　「ふれあい遊び」～リズムに合わせて親子で身体を動かそう～　対象　おおむね二歳～就園前の子どもとその親（二人一組）　講師　青木アツ子さん（親子ふれあい体操）　定員　二十八組（申し込み多数の場合は抽選・託児あり）　参加費　親子一組　二千六百円（十回分・託児希望の方は別に一人　二千五百円）

▼キッズルーム2『親子スキンシップ』・十二月八日～二十九年二月十六日の木曜日・全十回コース　午前十時半～同十一時半　内容　「親子でアイデア体創」～身体を使った楽しい遊び～　対象　おおむね二歳～就園前の子どもとその親（二人一組）　講師　井筒京子さん（けんこうの輪碧の木所属）　定員　二十八組（申し込み多数の場合は抽選・託児あり）　参加費　親子一組　二千六百円（十回分・託児希望の方は別に一人　二千五百円）

▼キッズルーム3『あひるの親子』・十二月二日～二十九年三月三十一日の金曜日・全十五回コース　午前十時半～同十一時半　内容　「元気な子（親）・病気しない子（親）・けがしない子（親）」～リズムに合わせて楽しく身体を動かそう～　対象　二十九年度に就園を迎える子どもとその親（二人一組）　講師　サンフェローズ所属員　定員　三十五組（申し込み多数の場合は抽選・託児あり）　参加費　親子一組　三千百円（十五回分・託児希望の方は別に一人　三千八百円）

▼キッズルーム4『キッズ・イングリッシュクラブ』・十二月七日～二十九年二月二十二日の水曜日・全十回コース　午前十時～同十一時　内容　親子が遊びやゲームを通して英語に親しむ　講師　竹本マリビックさん　対象　おおむね二歳～就園前の子どもとその親（二人一組）　定員　十組（申し込み多数の場合は抽選）　参加費　一組　四千六百円

▼創作工作「光のミステリーⅢ」・一日㈫～三十日㈬　午前九時～午後四時半　内容　筒に偏光板をはりあわせ、きれいな光のまんげ鏡を作ります　材料費　一個　三百六十円

▼季節工作「カレンダー」・一日㈫～三十日㈬　午前九時～午後四時半　内容　ダンボールで万年カレンダーを作ります　材料費　一個　百二十円

▼ちっちゃないろあそび『ダンボールのはんこをおそう』・十六日㈬～三十日㈬　午前九時～午後四時半　内容　ダンボールでパーツを作り、干支の動物のはんこを作ります。　材料費　一枚　六十円

▼いろあそび「とりのはんをそめよう」・十六日㈬～三十日㈬の午前九時～午後四時半　内容　正倉院柄で染めます　材料費　一枚二百円～　糊置きの場合五時間必要（糊置き代別途）

▼草木染め「こがねばなであたたかい黄色のショールを染めよう」・十六日㈬～十八日㈮　午前九時～午後四時半　内容　こがねばなの根を利用して染めます　材料費　一枚　四百円～　その他　限定三十枚

▼あきふゆ工作・一日㈫～二十九年二月二十八日㈫　午前九時～午後四時半　内容　プラバン、デコタイル、タイルアート、小麦粉ねんど、くるくるペーパー、ペンダント、ストラップ、ビンゴゲームなど　その他　材料費が必要

▼クリスマス会・二十六日㈯、二十七日㈰　午前九時～午後四時まで　内容　クリスマス工作、テーマ「お星さまとクリスマス」、ホール催し「オーケストラ演奏、キッズダンス、ミュージックベル、クラシックギター演奏、こども体操＆ダンスパフォーマンス、ミュージカル、ハーモニカ演奏、ビンゴゲーム」太陽・金星の観望、朝市、クリマ＆フリマなど　参加費　無料（工作は有料・限定数あり）　※日ごろの感謝を込めて、クリスマス工作は二十六日㈯も行います。詳しくはこども未来館までお問合わせください

◎ギャラリーCera（常滑市観光プラザ）

▼身の回りのこと―RECHOのかばん・帽子展―・十一日㈮～二十一日㈪　午前九時～午後五時半

▼Invention―発明―　Dorothy Feibleman・浅井啓介・二十五日㈮～十二月五日㈪　午前九時～午後五時半　入場無料

◎常滑屋

▼「自然の色　秋冬の服」・一日㈫～六日㈰

▼「縞・いろ染織展」・八日㈫～十三日㈰

▼「たみこ　パッチワーク教室展」・二十二日㈫～二十七日㈰

◎ギャラリーとこなめ（常滑市陶磁器会館内）

▼晩秋の器展　陶房杉・三日（木・祝）～八日㈫　午前九時～午後五時

▼とこなめ乙田窯作品展（常滑陶芸教室）・十日㈭～十五日㈫　午前九時～午後五時

▼青天窯グループ展・十七日㈭～二十九日㈫　午前九時～午後五時

◎小ギャラリーとこなめ（常滑市陶磁器会館内）

▼遊季窯展・安部季久・三日（木・祝）～八日㈫　午前九時～午後五時

▼朝採れ野菜と和洋菓子展・十日㈭～二十二日㈫　午前九時～午後四時

▼板村忠也作陶展・二十四日㈭～二十九日㈫　午前九時～午後五時

◎方円館

▼StepⅡ　樹盆倶楽部展・五日㈯～十六日㈬

▼中川貴了陶展・十八日㈮～三十日㈬

◎武豊町立図書館

▼読書感想画展・一日㈫～二十四日㈭

▼図書館フェスタ・三日（木・祝）　本のリサイクルフェア・本のフィルム掛けサービス・開館三十周年記念コンサート等

▼開館三十周年記念子どもクイズラリー「タケトヨのなぞを解け！」・十二日㈯～二十七日㈰　対象　保育園年長～小学校高学年

▼グループ空（くう）大人向け朗読会・十五日㈫　午後一時半～

▼閉架書庫見学ツアー・十九日㈯　①親子の部　午前十一時～　十名　②一般の部　午後二時～／午後四時～

▼子ども司書体験・二十三日（水・祝）　午前九時～正午　定員　九名（小学四年～六年生）

▼武豊寄席（愛知大学・落語研究会）・二十七日㈰　午後二時～

◎武豊町中央公民館

▼パソコン広場・三・十・十七・二十四日各㈭　午後一時半～同四時半　問合せ　NPO知多ネット鈴木　☎090―8422―4251

▼普通救命講座Ⅲ（小児、乳児、新生児に対しての救命方法）・八日㈫　午前九時～正午　定員　二十名

▼親業体験！学習会・八日㈫　午前九時四十五分～正午　批判しないで、共感的に話を聞く練習をする　日常生活を振り返り　気が付いたこと　困っている事などを自由に話し合う　講師　親業訓練協会認定インストラクター　参加費　千円　親業サークル　稲葉　☎72―7138　※当日参加自由

▼家庭教育セミナー子育てに関する学習会と質疑応答・八日㈫　午前十時～正午　参加費　無料　問合せ　知多家庭教育研究会　山下　☎72―1902

▼パソコンわいわい相談室・十二・二十六日各㈯　午後一時半～同四時　問合せ　NPO知多ネット田中　☎090―2612―1990

▼切り絵教室・①十六日②三十日③十二月七日各㈬　午後一時半～同三時　定員　十五名　参加費　三千円（材料費込）

▼子育てリフレッシュ講座「自分を励ますカードセラピー」・二十四日㈭　午前十時半～正午　定員　十五名（妊婦・子育て中の親）　参加費　無料　講師　NPO法人　Smiley Dream

◎武豊町民会館　ゆめたろうプラザ

▼第三十三回武豊町産業まつり・十二日㈯・十三日㈰

▼ゆめプラモーニングコンサート二〇一六　ハハコ☆フレンズ　フルート四重奏コンサート・十六日㈬　午前十時半　開演

▼福寿大学⑥「こんなに変わった今の授業～授業風景今昔物語」・十七日㈭　午前十時～正午　対象　武豊町内在住の六十歳以上の方　参加費　無料

▼第三十一回国民文化祭・あいち二〇一六武豊町協働のまちづくりフォーラム・二十日㈰　午後一時半～同五時

▼武豊町文化講演会二〇一六　住田裕子「行列のできる悩み相談所～笑顔を忘れないために～」・二十六日㈯　午後二時開演

▼石膏デッサン　ステップアップ教室・三十日㈬～十二月三日㈯　午後六時半～同八時半　定員　十名（小学五年生以上）　参加費　無料

◎武豊町総合体育館

▼武豊町民バレーボール大会（中学生の部）・五日㈯

▼秋季町民卓球大会・六日㈰

▼二〇一六フラワーフェスティバルin武豊・十二日㈯・十三日㈰

▼武豊町体育協会ビーチボール部　キッズ大会・二十日㈰

◎長尾児童館

▼クリスマス飾りを作ろう（要申込）・二十七日㈰　午後一時半～同三時

◎おおあし児童館

▼クリスマス飾りを作ろう（要申込）・二十六日㈯　午後一時半～同三時

※各児童館共通行事　オレンジリボンを作ろう・一日㈫～三十日㈬（休館日を除く）　午前十時半～午後四時半

◎半田市空の科学館

▼十一月の星見会～「月・天王星・海王星」・十二日㈯　午後六時半～同八時　定員　六十名（小学生以上）

▼ナイトプラネタリウム～星空と音楽とアロマの香りに包まれて～（プラネタリウム番組「ナイトフライト」を見ながらのヒーリングプラネタリウム）・二十五日㈮　午後七時～同八時　定員　百名（小学生以上）　参加費　大人五百円　小人二百円

◎碧南白竹木材㈱白竹ギャラリー

▼ジャズライブpeople time last live・二十五日㈮　午後七時半～四十分　二ステージ　千円

わが家のニューフェイス

吉田真虎人（まこと）(5才)　虎生（とうま）(7ヶ月)　愛虎（まなと）(2才)　武豊町梨子ノ木

僕の名前は愛虎です。1880gと小さく産まれたけど、元気いっぱい走り回るのが大好きです。早くお兄ちゃんみたいに保育園に行って、色々と遊べるようになるのを楽しみにしてます。言葉もいっぱい覚えて、みんなと話ができるのも楽しみにしてます。

兄弟三人で、仲良く楽しく毎日を過ごしてほしいです。

写真・文　母　吉田真由美

愛とMy Family

筒井莉央（りお）(8ヶ月)　常滑市井戸田町

こんにちは。私の名前は筒井莉央です。私はお出かけしたりミルクもごはんもすきだけどパパと遊ぶのが一番だぁいすき。パパは疲れてても、いっぱい笑わせてくれるし遊んでくれる。私が笑うとパパもママも笑顔になるんだ。早く歩けるようになって公園で遊んだり、おどったりしたいな。

今日パパ早く帰ってくるかなぁ♡

写真・文　筒井麻美

秋冬の服

中根由美子 中根啓 作品展
2016.11.10(木)～11.14(月)

縮絨ウールのベスト
手染め綿のパンツなど
秋冬のおもしろ布の装いを
お楽しみください。

煎茶 売茶 治郎兵衛（じろべえ）
〒470-2544 知多郡武豊町里中128-1
☎〈0569〉72-0160
営業時間/8時～17時　定休日/火・水曜

ちたはんだ
はんだ
武豊中
武豊小
JR武豊線
たけとよ
金下
武豊橋
中根5
72
堀川
堀川橋
名鉄河和線
ちたたけとよ
247
向陽4
衣浦小
治郎兵衛
里中
N
良方

募集 パート・アルバイト

《業務内容》
★セントレアへの配送業務
★早朝業務(配達等)
★夕刊を届ける人(要免許)
★集金をする人
★午前3時から出勤できる人

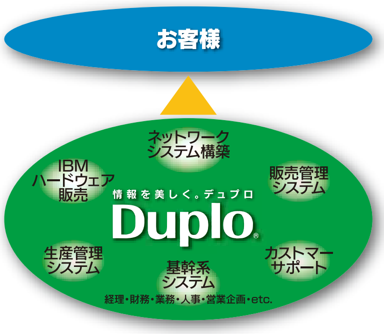
中日新聞
あかい新聞店
武豊店/☎72-0356
常滑店/☎35-2861

※詳しくお問い合わせは あかい新聞店 まで

デュプロ販売株式会社（名古屋）
東海・北陸地区発売元

デュプロは
コンピュータネットワークを活用した、
お客様の新しいビジネススタイル
“e-BUSINESS”を提案していきます。

情報を美しく。デュプロ
Duplo®
from print to documents


お客様
ネットワークシステム構築
IBMハードウェア販売
販売管理システム
情報を美しく。デュプロ
Duplo
生産管理システム
基幹系システム
カストマーサポート
経理・財務・業務・人事・営業企画・etc.

デュプロ販売株式会社
〒460-0015 名古屋市中区大井町4番19号　TEL〈052〉321－2020